

## —熊本・私の故郷—

私の喜びは、一人でも多くの人が神を信じるようになること。だから教会も信者も伝道師も少ない外国に行けば、多くの人を導くことができると聞いて、ここへきたわけです。日本で37年間、福音伝道ができたことに、私は心から感謝しています。

日本そして熊本は、最初から大好きでした。でも熊本は、冬は底冷えがして本当に寒いし、夏暑いですからね。ちょうど一番熱心に伝道したときが夏で、うちわしかない頃です。そのあと高森にきたのですが、私に高森の気候がとてもあつて、それが私の、これが私の、これが私の生き方。  
3年前から私は長距離サイクリングを始めました。というは日本中そして

アジア中を旅行しているオーストラリア女性が、ここに一泊したのですが、彼女の出会いが一つの刺激となったのです。その後九州を4回、自転車で旅しました。熊本は九州の中心にあるので動きやすいのです。さらに今年は本州に行く計画をたてています。私は60歳になってから、

長距離サイクリングを始め、富士山に登り、ロビクスを始め、年に一度家族と草千里でそりすべりをしたりします。昨年は、イスラエルへ行き、3週間キブツという農場で働きました。みんな60歳になってからのことです。

私のこれからの生きる目的は、若い人達へ刺激を与える人でありたいということ。若い人のお手本になりたいですね。年をとることは何も絶望的なこと、恐れること、悲しいことでもなく、人生の終りでもありません。私は、年をとっても活動的で、自由で、健康であるということを、年をとりたくない若い人に、私の身をもって訴えたいのです。私は現在63歳ですが、あと37年で100歳です。それで私は、今から第2の福音伝道期だと思っています。今度献体の手続きに熊本市へいくつもりです。けれどお医者さんは、100歳の年老いた身体は、必要ないというかも知れませんが……。



若い人の刺激にならぬ  
これが私の、これが私の生き方。

*Kumamoto-My country  
On July 15<sup>th</sup> at 9<sup>th</sup>  
stepped on the  
statue.*

*In April of "Showa" 5<sup>th</sup>  
Australian lady (farmer work) with a  
we climb."*

*Last year I went to Farad to work for  
Japanese in a "hibbuta" (farm work) with a  
one very poor and we very sick. The roads  
were so narrow and very dusty and I  
longed for good roads. Now I think Kumamoto  
is spending too much building unnecessary  
roads, bridges, and tunnels. I am in the city I  
may see to grow food.  
The next time I am in "Kentai," but maybe  
they may have any need for a 100*

昭和26年。今から37年も前に  
キリスト教伝道のため宣教師として熊本にこられた  
ユーレエラ・スプアさん。

元気いっぱいに高森の町を飛び回って  
活躍中のスプアさんに近況を  
おうかがいました。



高森キリスト教会  
(63歳)  
伝道師 ユーレエラ・スプアさん  
カナダ・サスカチュワーン州生まれ

